

FMKテコンドー取材・水前寺支部

1月14日FMKラジオの取材がこの度水前寺支部で行われ、テコンドーの練習の模様や道場生へのインタビュー等約1時間に亘り行われた。パーソナリティとして有名な「かなぶんや」さんがインタビュー。土橋陽一支部長がテコンドーの魅力や楽しさを伝える。5年前、帯山本部道場での取材に続く2回目のテコンドー取材。テコンドーのPRにも繋がりそうだ。

放送は1月29日と来月5日金曜日、午後3時50分から2回に亘りオンエアされる。是非FMKへスイッチオン!

全日本直前強化合宿に25名参加!

KAB熊本朝日放送「バラエティ番組」収録も!

1月30日~31日 熊本学園大学テコンドー道場

2月の全日本選手権を前に、県強化選手を中心とした2日間にわたる強化合宿が行われた。大阪、長崎、宮崎などからの選手数名も参加、先月中旬から来熊している韓国選手とともに共に汗を流した。指導は西村紀幸、県選手強化委員長を中心として、樋口清輝選手も技術指導などを行った。参加した選手は、韓国選手とのキヨルギやミット練習など真剣に取り組んでいた。30日には2月13日深夜0時20分放送予定の熊本朝日放送のバラエティ番組「ファイブチャンネル」の収録も行われた。

記念撮影



全日本協会主催審判講習会阿蘇で開催される

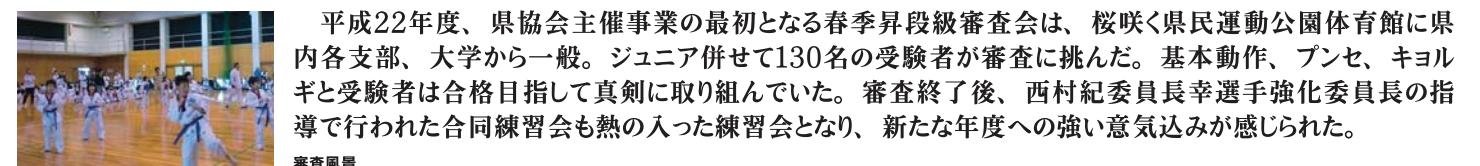
2月6~7日 阿蘇青少年交流の家



社団法人全日本協会、審判委員会主催の審判講習会が、この程、阿蘇青少年交流の家で九州地区から約30名が参加、長野修士全日本協会審判委員長の指導のもと2日間の日程で行われた。今回は、国内A級、B級ライセンスの取得講習も伏せて行われ、県協会からは樋田隼人県協会審判委員長を初め、各支部長等7名が受講した。参加者は、新ルールでの対応、防具を付けての実際の動きに合わせてのジャッジ等真剣に取り組んでいた。

春季昇級審査に122名が受験! 合同練習会も開催!

4月4日 熊本県民運動公園



平成22年度、県協会主催事業の最初となる春季昇級審査会は、桜咲く県民運動公園体育館に県内各支部、大学から一般、ジュニア併せて130名の受験者が審査に挑んだ。基本動作、ブンセ、キヨルギと受験者は合格目指して真剣に取り組んでいた。審査終了後、西村紀委員長幸選手強化委員長の指導で行われた合同練習会も熱の入った練習会となり、新たな年度への強い意気込みが感じられた。

熊本市体育協会へ正式加盟承認、熊本市テコンドー協会!

4月19日

熊本市内8道場、3大学で組織する「熊本市テコンドー協会・会長 樋口悦夫」は、昨年11月熊本市体育協会への加盟を申請していたが、4月19日、熊本市体育協会評議員会に於いて正式に加盟が承認された。熊本県テコンドー協会では、平成12年に熊本県体育協会への正式加盟を果たした後、地区体育協会への加盟促進を目標に挙げ、現在までに阿蘇市、宇城市、宇土市、八代市（鏡町）への体育協会へ加盟しており、県テコンドー協会の会員の約半数が所属する熊本市テコンドー協会の体育協会への加盟が急務であった。

前期理事会開催、園田幸二副会長

西村紀幸副理事長を選任

4月24日 県協会本部事務所

平成22年度の常任理事会及び前期理事会は、県協会本部に9名の理事が出席して行われた。先に行われた常任理事会に於いて、新役員として宇土支部長の園田幸二氏を副会長に、また西村紀幸、阿蘇・大津支部長を副理事長に選任。理事会に於いても承認されたほか、前年度事業報告、収支決算報告、本年度事業計画等が審議された。

また、併せて熊本市協会の理事会も行われ、19日に正式加盟となった熊本市体育協会への経過説明等が会長から行われた。

テコンドーくまもと Vol.31

TAEKWONDO KUMAMOTO 2010.1 ▶ 2010.4



熊本県選手団

全日本選手権 樋口・津田ダブルV! 牧野、野口も3位入賞

2月14日 東京・駒澤公園体育館

ロンドン五輪に向けての重要な第一歩となる今年の全日本選手権大会、全国の各地区大会等を勝ち進んだ選手、160名が集い熱戦を繰り広げた。県協会からは、過去最多となる9名の選手が出場、上位入賞を目指した。

今大会は国内公式戦、初となる電子防具を採用しての大会となったが、的確に入った蹴りにポイントが入らないなどの問題点もあったものの、試合はスムーズに進行した。県協会の選手も、68kg級の樋口清輝選手が順調に勝ち進み、決勝は14対2の圧勝で昨年準優勝の雪辱を果たす。また女子46kg級では、同じく昨年準優勝に終わった津田ひかる選手が、初戦、準決勝と勝ち進み決勝に駒を進め、東京の選手を下してこの階級を制した。



4個のメダルをゲット

全日本選手権出場久々の-87kg級、牧野信一選手は準決勝まで勝ちすすんだが残り僅か20秒で逆転のポイントを許し、惜しくも3位となつた。また、+87kg級の野口嘉津馬選手も準決勝で敗れたものの3位入賞を果たした。

昨年度全日本-58kg級3位の中山選手は、2回戦で、大阪の中川選手に接戦で敗れ、2大会連続の入賞はならなかつた。



大会の様子

樋口清輝	男子-68kg級	優勝	1回戦[4-0]レアンドロ（愛知） 準決勝[3-0]山口（大阪） 決勝[14-2]藤田（宮城）
中山北斗	男子-58kg級	ベスト8	2回戦[1-3]中川（大阪）
渡辺雄二	男子-54kg級	初戦敗退	1回戦[0-1]宇山（東京）
廣瀬翔平	男子-63kg級	初戦敗退	1回戦[2-6]三橋（袖ヶ浦）
松本宇生	男子-68kg級	初戦敗退	1回戦[0-1]安瀬（東京）
野口嘉津馬	男子+87kg級	3位	1回戦[6-3]伊納（岐阜） 準決勝[3-12]大上（岐阜）
牧野信一	男子-87kg級	3位	1回戦[5-4]橋爪（神奈川） 準決勝[5-9]グオン（東京）

津田ひかる	女子-46kg級	優勝	2回戦[2-1]吉本（東京） 準決勝[8-1]浜口（大阪） 決勝[8-7]鶴沢（東京）
本田千尋	女子-57kg級	ベスト8	1回戦[10-0]大田（東京） 2回戦[0-4]山崎（兵庫）



大会ハイライト

西田 亮選手 小学ウェルター級で優勝! 第8回タイガーマスターズカップ

1月24日 長崎県西彼総合体育館

日本テコンドー虎会主催のタイガーマスターズカップは、この程、長崎県西彼総合体育館で、九州各地の虎会関係支部及び、協力団体から151名が参加して、キヨルギ(組み手)とブンセ(型)の2競技で行われた。

県協会からは、オープン参加として阿蘇支部、不知火支部から6名が参加、小学生高学年ウェルター級で不知火支部の西田亮選手が優勝した他、小学女子低学年パンタム級で米田優選手が準優勝するなどの活躍をみせた。



階級・部門	順位結果	選手名	所属
小学生高学年ウェルター級	優勝 (敢闘賞受賞)	西田 亮	(不知火)
"	3位	西村 真利愛	(阿蘇)
"	3位	森永 修斗	(阿蘇)
小学女子低学年パンタム級	2位	住 大翔	(阿蘇)
"	3位	米田 優	(阿蘇)
"	3位	山本 悠菜	(阿蘇)
"	3位	富田 大翔	(阿蘇)

第10回城北地区大会開催!

2月28日 阿蘇市阿蘇体育館

今年の県協会主催大会の先頭をきって、第10回城北地区大会が阿蘇市で開催。城北地区の支部を中心として県下オープン参加を含めたジュニアから一般まで約50名が参加。ブンセ競技とキヨルギで熱戦を繰り広げた。

開会式では、蔵原博敏 阿蘇市協会会長の挨拶のあと、樋口清輝選手(県協会本部)と津田ひかる選手(学園大付属高)の2名が出場し共に優勝を飾った。

今大会は、新ルールの採用を採用。特にジュニアの試合では、テウツチャギ(後ろ蹴り)や大技のテウツフリギ(後ろ回し蹴り)等の技も多く見られ本来のテコンドーの華麗な蹴り技の応酬が見られ会場を沸かした。特に中学男子の決勝では、西川隆弘選手(鏡)と坂田賢誠選手(竜田)の対戦では、一進一退の攻防となり、西川選手が坂田選手を下しこの階級を制した。優勝した西川選手は、最優秀選手賞を獲得した。

ブンセの部では、個人、3級以上の部で徳永大樹選手(託麻)また団体ブンセは託麻支部が優勝する活躍をみせた。



階級・部門	順位結果	選手名	所属
幼児の部	優勝	住 日向	(阿蘇)
"	準優勝	笠 陽智	(竜田)
小学1・2年男子軽量級	優勝	田川 花道	(八代)
"	準優勝	富田 大翔	(阿蘇)
"	3位	谷口 幸也	(鏡)
小学1・2年男子重量級	優勝	住 大翔	(阿蘇)
"	準優勝	岩下 優人	(大津)
"	3位	山本 鉄聖	(合志)
小学3・4年男子軽量級	優勝	笠 薫偉	(竜田)
"	準優勝	足立 和大	(大津)
"	3位	泉 千晶	(託麻)
小学3・4年男子重量級	優勝	廣田 龍信	(武道館)
"	準優勝	森永 修斗	(阿蘇支部)
"	3位	山本 裕輔	(合志)
小学5・6年男子の部	優勝	中西 一将	(武道館)
"	準優勝	廣田 翔栄	(武道館)
"	3位	坂田 優心	(竜田)
中学男子の部	優勝 (最優秀賞)	西川 隆弘	(鏡)
"	準優勝	坂田 賢誠	(竜田)
"	3位	渡辺 潤也	(御船)
一般男子-58kg級	優勝	西田 龍矢	(熊本大)
"	準優勝	金子 韶貴	(崇城大)
"	3位	若松 孝彬	(熊本大)
一般男子-68kg級	優勝	広瀬 開	(崇城大)
"	準優勝	本山 翔也	(熊本大)
"	3位	横田 啓輔	(熊本大)
小学1・2年女子	優勝	野田 里香子	(川尻)
"	準優勝	本田 梢華	(阿蘇)
"	3位	足立 珍葉	(大津)
小学3・4年女子	優勝	米田 優	(阿蘇)
"	準優勝	山本 悠菜	(阿蘇)
"	3位	川越 有紗	(川尻)
中学生女子	優勝	坂本 百合奈	(菊池)
"	準優勝	本田 等子	(阿蘇)

HIGHLIGHT

※大会結果の詳細はホームページに掲載



階級・部門	順位結果	選手名	所属
小学生高学年ウェルター級	優勝 (敢闘賞受賞)	西田 亮	(不知火)
"	3位	西村 真利愛	(阿蘇)
"	3位	森永 修斗	(阿蘇)
小学女子低学年パンタム級	2位	住 大翔	(阿蘇)
"	3位	米田 優	(阿蘇)
"	3位	山本 悠菜	(阿蘇)
"	3位	富田 大翔	(阿蘇)

大会ハイライト

オランダダッヂオーブン樋口清輝選手ベスト16に終わる 3月20日 オランダアントホーフエン

※大会結果の詳細はホームページに掲載

ダッヂオーブンはヨーロッパでは歴史の古い大会の一つ。今回、日本選手としては唯一樋口清輝選手が参加した。参加選手が1,000人を超える大きな大会で、樋口選手が出場した68kg級も80名のエントリーがあり優勝するまでには5~6回戦を戦わなくてはならない体力、精神力が要求される。大会は電子防具で実施された。

樋口選手は初戦をドイツの選手に7-3で、続く2回戦もベルギーに7-2で快勝。準々決勝がかかる3回戦では、ポーランドの選手に惜しくも敗れ、メダル獲得はならなかった。今回は2002年全日本選手権(福島)でライト級3位となつた弟の佳明(現ハワイ在住)が特別に兄のセコンドについた。

「動きとしては良かったが、電子防具での試合運びの難しさやヨーロッパの選手の動き等大変勉強になった」と樋口選手は大会を振り返った。



記念撮影



樋口清輝選手(右)
弟の佳明さん(左)

アジア選手権日本代表選考会

樋口清輝男子68kg級・津田ひかる女子46kg級とともにV

4月25日 東京味の素ナショナルトレーニングセンター

第19回アジア選手権大会日本代表選考会はこの度、ナショナルトレーニングセンターで開催され男女14階級を実施。県協会からは男子68kg級に樋口清輝選手(県協会本部)と女子46kg級に津田ひかる選手(学園大付属高)の2名が出場し共に優勝を飾った。

樋口選手は決勝を山口健二選手(大阪)に7-3で勝利、津田選手は富安美絵子選手(東京)に7-2で快勝し5月20日からカザフスタンで開催されるアジア選手権の日本代表選手(男子6名・女子3名)として派遣が正式に決定した。

津田ひかる選手は初のアジア選手権となり、また、樋口清輝選手は4度目の出場となるが、過去3回出場し、毎回銅メダルを獲得しているだけにメダルへの期待がかかる。

協会ニュース&トピックス

NEWS&TOPICS

※大会結果の詳細はホームページに掲載

3333段日本一の階段登りに挑戦!水前寺支部

1月11日 旧中央町

水前寺支部(土橋陽一支部長)の恒例行事としている旧中央町の日本一の石段(3333段)登りも今年で4回目となり、水前寺支部の道場生の他、川尻支部、武道館からの希望者を含め23名が挑戦した。子供達も上に登るほど、きつそうな表情だったが、登りつめた時の達成感は何事にも代えられない。その後、川尻支部の保護者の用意した豚汁などで体を温め親睦を深めた。



韓国から強化練習に助っ人!

1月12日~31日

2月14日に東京で開催される全日本選手権大会に向け、今年は県協会から過去最多の9名の選手が出場することが決まっているが、更なる強化を図るために、韓国・啓明大学ヨンソン女子高から男子2名、女子1名の全国レベルの選手を招聘し約3週間に亘り県強化選手とともに長期合宿練習をすることになった。

12日、韓国大邱広域市から熊本に到着した選手達はさっそく熊本学園大学の専用道場で一緒に汗を流したが県強化指定選手にとっても良い刺激となり来月の全日本へ向けて一層気合が入る。また、県選手強化委員会では1月30日、31日の2日間、県外からの選手も参加しての交流合宿も計画されており、韓国選手を交えてのレベルの高い合宿となりそうだ。



韓国から強化練習に助っ人!